

令和6年度第2回台東区地域ケア全体会議

日 時：令和7年2月27日（木） 台東区地域包括支援センター運営協議会終了後

場 所：台東区役所10階1002会議室

出席者：17名

新田委員 須田委員 加藤委員 渡邊真純委員 松田委員 川又委員 井澤委員
石井委員 小嶋委員 渡邊ひろみ委員 河井委員 鈴木委員 佐々木浩子委員
武田委員 和泉澤委員 佐々木洋人委員 水田委員

1. 開会

2. 地域ケア全体会議

（1）令和6年度地域ケア会議実施状況について

高齢福祉課長

地域ケア会議のそれぞれの会議の目的や対象者は資料1「台東区地域ケア会議の概要」、各会議の実施回数は資料2「台東区地域ケア会議全体図」、個別課題検討会議の事例については資料3「令和6年度自立支援・介護予防に向けた地域ケア個別会議実施概要」資料4「令和6年度地域ケア個別会議実施概要」を確認いただきたい。個別ケースについては、途中のものも含まれるため、次回報告予定。

（2）地域ケア会議から発展した事業の実施状況について

介護予防担当課長

①ICTを活用した介護予防活動支援事業（みんなチャレ）

資料5「ICTを活用した介護予防活動支援事業（みんなチャレ）について」に沿って報告。

実施に至った経緯、目的、実施状況を説明。約5ヶ月間でアプリ内の写真や投稿数が2倍になった一方、申込者数が伸び悩んだこと、職員のマンパワー不足が課題として挙げられた。今後は通いの場団体などの既存グループへの働きかけを強化し、より多くの方が事業に参加いただけるよう、周知および実施方法の見直しを行っている。

②リハビリ専門職によるシルバーカーの使い方講習会

高齢福祉課長

資料6「リハビリ専門職によるシルバーカーの使い方講習会について」に沿って報告。

講習会の実施に至るまでの経緯、実施目的・状況を説明。講習会の実際の様子（映像）を共有。その後、実施後のアンケートで明らかになった高齢者とりハビリ専門職のニーズについて、リハビリ専門職が所属し、かつ、既に地域住民向けイベントを開催している組織（同善病院・台東診療所・台東病院）に提供。現在は、生活支援体制整備事業を活用し、組織や既存イベントの課題などと一緒に検討を行っている。

副会長＜みんなチャレについての意見＞

先日、みんなチャレのアフターフォローのような会へ出席し、ある参加者から、「歩くのが億劫であったが、他の参加者が意欲的に取り組んでいたため、自身のモチベーションが上がり、普段の倍歩くことができた」と話しがあった。実際に歩数が倍以上と結果に現れており、素晴らしいと感じた。そして、歩数ごとにポイントが貯められて、事業に寄付できる。今年度は、小中学校へ46個のサッカーボールを寄付しているなど実績があり、高齢者の方も満足されている。アプリをダウンロードし、仲間を見つけて、実際に歩くまでのプロセスはとても大変であるが、それに見合う効果は、この事業にはあるのではないかと思った。ぜひ、今後も予防の観点でこの事業の参加者が増えればと思っている。

委員<リハビリ専門職によるシルバーカーの使い方講習会に対する感想・質問>

・感想

シルバーカーの使い方講習会はすごく良いと思った。高齢者のニーズである気軽に身近な場所で定期的にやってほしいということも分かり、意識が持続しないなどもこれも本当に最もだと感じた。

・質問

専門職はリスクの観点から責任を持った提案ができなかったとある。悩ましい部分であると思うが、具体的に何か例があればお聞きしたい。

高齢福祉課長

参加者の主治医などがどのような助言および指導を行っているか不明な状況で、一歩踏み込んだ助言を行ったことによるリスクが考えられるため、シルバーカーの使い方の助言等を行うことが難しいという意見があった。

委員<感想>

シルバーカーだけではなく、杖も誤った使い方をしている高齢者の方が見受けられる。また、車いすを危うい押し方をしている方がいらっしゃる。地域包括支援センターやデイサービスなどの施設の方々が、誤った使い方をしている高齢者に対して、助言など一声かけられるような機会があれば良いと思った。また、みんなチャレの寄付のプロジェクトに関して、寄付は重要であると感じた。高齢者の方も、自身の活動が子どもたちに貢献できることに対して、達成感を感じられると思う。

高齢福祉課長

資料7「台東区地域ケア全体会議設置要綱の改正について」に沿って報告。

台東区地域包括支援センター運営協議会設置要綱の改正に伴い、台東区地域ケア全体会議設置要綱の改正を行い、令和7年4月1日から施行予定。

3. 閉会